アサヒペン

New 回しやすい パターン変更ノズル付

これは便利

ガス抜きキャップ付

特許 No.2941761

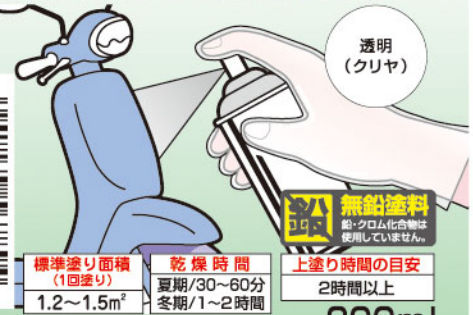
今まで密着しなかった
各種プラスチックへの塗装ができる

プラスチック用 プライマー（下塗り）

用途 ポリプロピレン・ナイロン・ABS・FRP・硬質塩ビ・アクリル・PETなどの下塗り用

適さない素材 ポリエチレン・ポリスチレン・発泡スチロール ポリアセタール・ポリカーボネート・メッキ面

PLASTICS PRIMER



4 901234 567894

標準見本0.8倍

標準塗り面積（1回塗り）	乾燥時間	上塗り時間の目安
1.2～1.5m²	夏期/30～60分 冬期/1～2時間	2時間以上

300ml

使用方法・注意書きをよく読んでから使用して下さい。

商品名 プラスチック用プライマー
品　名 合成樹脂塗料
成　分 合成樹脂（アクリル）、有機溶剤

使用方法
①塗る面のゴミ、油分、さび、カビ、ワックス等をとります。ポリプロピレンの場合は、さらにペイントうすめ液を含ませた布等で拭き、充分に乾かします。②塗料がついて困る周囲は、あらかじめマスキングテープ等でおおいます。③使用するときは、容器を充分に振り、よく混ぜます。使用中もときどき振り動かして中身をよく混ぜます。④塗料を吹き付けるとき、塗る面と噴出口との間は20～30cmの間隔をとります。⑤目立たない部分で試し塗りをして噴射の状態・乾燥性・下地への影響・密着性などをよく調べて、異常がないことを確かめてから塗ります。⑥一度に厚塗りをしないで、塗る面と平行に移動しながら、ややうすめにまんべんなく2～3回ぐらい塗り重ねます。⑦使用後は、噴出口がつまらないよう容器を逆さにして2秒くらい空吹きし、噴出口をよく拭いてからキャップをします。⑧2時間以上乾燥させてから上塗りします。

用具の手入れ方 ラッカーうすめ液で洗って下さい。

保管上の注意
1. 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないよう注意して下さい。
2. 中身が漏れたり破裂する危険がありますので、湿った場所などサビやすいところや、直射日光のあたるところ・自動車内・暖房器具の周辺などの温度が高くなるところには置かないで下さい。

危険

●引火性あり ●皮膚刺激 ●強い眼刺激 ●臓器の障害 ●眠気やめまいのおそれ ●水生生物に毒性

救急処置
● 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
● 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。
● 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

第2石油類120ml／危険等級Ⅲ／火気厳禁
合成樹脂クリヤ塗料（A－029）

取扱い上の注意
①表示の用途以外には使用しないで下さい。②ユニットバス・浴槽など絶えず水がかかったり、いつも湿っているところ、また自動車・ヘルメットの補修、テーブルの天面や床には適しません。③天気の良い湿度の低い日に塗って下さい。④体調の悪いときやアレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。⑤取扱い中は必要に応じてマスクや保護メガネ、手袋(ポリ手袋など塗料が浸透しないもの)を使用して下さい。炎症を起こすおそれがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。また吸い込んだり、目に入らないように注意して下さい。⑥有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中ともに換気をよくして下さい。⑦塗料を吹き付けるときは、人や物にかからないよう注意して下さい。⑧塗料は楕円形に噴射されますが、塗料の出る青い部分を回すことによって縦形にも横形にも変えられます。⑨容器を逆さにした状態では吹き付けできません。⑩本品は下塗り用です。必ず上塗りをして下さい。ラッカー、油性塗料、水性塗料などの塗料が上塗りできますが、ラッカー系塗料を上塗りする場合は、スプレー塗装して下さい。⑪プラスチックがラッカーうすめ液やペイントうすめ液で侵される場合には、ラッカーや油性塗料は上塗りできません。⑫塗り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件の違いにより多少異なります。⑬やむをえず中身の塗料を捨てるときは、火気のない屋外で新聞紙などに吹き付け、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑭容器を捨てる際には、容器下部の表示に従って中のガスと塗料を充分に抜き、他のゴミとはっきり区別して捨てて下さい。⑮容器を落下させると中身が吹き出すことがありますので取扱いには注意して下さい。

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。
①炎や火気の近くで使用しないこと。②火気を使用している室内で大量に使用しないこと。③高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。④火の中に入れないこと。⑤使い切って捨てること。
高圧ガス：DME

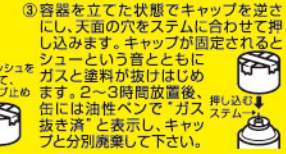
ガス抜きキャップの使い方

注意事項
①必ず中身を使い切ってから行って下さい。
②火気のない屋外で行って下さい。
③塗料が飛び散っても差し支えないところで行って下さい。
④容器が倒れないよう平らな場所で行って下さい。

ガス抜きの方法
①スプレーから押しボタンを引き抜きます。

②キャップの内側にティッシュペーパーを5～6枚詰め、セロハンテープで浮かないように止めます。

③容器を立てた状態でキャップを逆さにし、天面の穴をステムに合わせて押し込みます。キャップが固定されるとシューという音とともにガスと塗料が抜けはじめます。2～3時間放置後、缶には油性ペンで"ガス抜き済"と表示し、キャップと分別廃棄して下さい。



ほんだ会社 アサヒペン
大阪市鶴見区鶴見4－1－12
http://www.asahipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300

フィルム：プラスチック(PP) ボタン：プラスチック(PE) 日本製
キャップ：プラスチック(PP) 容器：スチール

01－1401